

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：遺家族等援護費

事業名 戦没者追悼事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部地域福祉課管理援護係 電話番号：058-272-1111 (内 2520)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,162 千円 (前年度予算額：6,162 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,162	0	0	0	0	0	0	0	6,162
要求額	6,162	0	0	0	0	0	0	0	6,162
決定額	6,162	0	0	0	0	0	0	0	6,162

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

日清戦争から太平洋戦争までの間に、戦場において又は空襲などによって犠牲となった本県出身者の方々を慰霊するため、各種追悼事業を行う。

(2) 事業内容

- ・ 岐阜県出身の戦没者追悼式 (県戦没者追悼式) の実施
 於：岐阜県戦没者慰霊塔 (10月)
- ・ 慰霊巡拝等での献花
 戦没者のご遺族が、戦地での慰霊巡拝に参列する場合、現地での知事名の献花をご遺族に依頼。
- ・ 戦没者慰霊塔及び旧陸軍墓地の維持管理
- ・ 沖縄及び南方諸地域戦没者追悼式の実施
 於：沖縄県糸満市摩文仁の丘 岐阜県慰霊塔 (11月)
- ・ 沖縄慰霊塔 (岐阜県) の維持管理

(3) 県負担・補助率の考え方

国家としての戦争により犠牲となった本県出身の戦没者を悼み、その御霊を慰めることで、戦争の記憶・記録を風化させることなく、その悲惨さと平和の大切さを未来へ語り継いでいく。

(4) 類似事業の有無

他に類似事業無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	623	沖縄及び南方諸地域戦没者追悼式への参列
需用費	72	全国追悼式供花代、県追悼式案内状等
役務費	70	県追悼式仮設トイレ汲取り料等、通信運搬費
委託料	5,246	県追悼式会場設営委託、慰霊塔などの維持管理
使用料及び賃借料	151	使用料及び賃借料（バス借り上げ料等）
合計	6,162	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

国… 全国戦没者追悼式(8月15日) 太平洋戦争で亡くなった戦没者を悼み、その御霊を慰める。遺族約6,000人が出席する。予算：150百万
他県…同様の事業を実施。

(2) 後年度の財政負担

毎年度、予算の範囲内で対応

(3) 事業主体及びその妥当性

国家としての戦争により犠牲となった本県出身の戦没者を悼み、その御霊を慰めることで、戦争の記憶・記録を風化させることなく、その悲惨さと平和の大切さを未来へ語り継いでいく追悼式を県として実施する。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

戦争により犠牲となった本県出身の戦没者を悼み、その御霊を慰めることで、戦争の記憶・記録を風化させることなく、その悲惨さと平和の大切さを未来へ語り継ぐ

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

戦没者を追悼することで戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えるものであり、指標は設定できない。

（前年度の取組）

- ・全国戦没者追悼式 令和2年8月15日（土）岐阜県遺族11名参加
- ・岐阜県戦没者追悼式 令和2年10月23日（金）
予算の範囲内で実施。来賓、遺族約40名参加。

（前年度の成果）

追悼式の実施などにより、戦没者を悼み、その御霊を慰め、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	追悼式の実施などにより、戦没者を悼み、その御霊を慰め、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝える事が必要。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	毎年度戦没者追悼式を挙行し、戦没者の方々を慰霊するとともに、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えることができおり、効果が得られている。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	各追悼式を、年1回実施。

(今後の課題)

戦没者を悼み、その御霊を慰め、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えるため、今後も引き続き実施。

(次年度の方向性)

戦没者を悼み、その御霊を慰め、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えるため、今後も引き続き実施。
